

ごあいさつ

ご来場の皆様、本日はお足元の悪い中、K2おけ！第一回「不」定期演奏会にお越しくださいまして、まことにありがとうございます！晴れていますか？ まぁどちらでもいいです。

当オーケストラは、K2おけ！という大変珍妙な名前のオーケストラですが、どうしてこのような名前になったのか。簡単にご説明したいと思います。

発足当初は、「けつおけ！」という名前にしたかったのですが、それでは他人に伝える際や、団員同士コミュニケーションをとる際に人前で発音する事に抵抗を覚えますという、至極真っ当な声上がり、では「K2おけ！」であれば「けつおけ」と発音が可能であるのでいいのではないかとという事に相成りました。

その後、「K2」って何？ と問われた際の逃げ道として、「ケツバット (Keazbatt) ・キネン (Kinen) ・オーケストラ (Orchestra)」、すなわち「KKO」で「K2」という意味にしようという、逆説的な方法を経て決定した名称となっております。

ですが、練習場所確保などの際、施設から手渡される紙に「ケツバット・キネン・オーケストラ」と書かなければいけないなど、大変な精神的苦痛を伴う、ともすれば罰ゲームになり兼ねない過酷な試練を乗り越え、練習に励んで参りました。

PR文に書かれていた「3時間の練習5回で本番」。これは嘘や大袈裟な表現ではありません。実際は、練習4回+ゲネラルプロローベという状況で本番を迎えております。どんな音楽が飛び出すのか読みきれないというのが正直なところかもしれません。

血湧き肉踊り、手に汗握るスペクタクル！ そんな空気をお客様もステージ上も感じ、一体感のあるコンサートになれば幸いです。

さあ、本日はおかげさまで好天に恵まれ、絶好の演奏会日和となりました。どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください！

この文を読んでも、「何故けつおけ！なのか」、「ケツバットとは何なのか」という二点に関しては一切解決いたしません、それはまた次の機会にという事で。

代表 西園寺エリカ

指揮

市原 雄亮 (yusuke ICHIHARA)

新潟県上越市生まれ
成蹊大学法学部法律学科卒業

4歳よりピアノを始める。中学時代にチューバに出会い、後にトロンボーンに転向。高校卒業後は音楽大学へは進まず、法学部に学ぶ。大学在学中に吹奏楽の指導や講習会を経験する。

そんな中、川本統脩氏より薫陶を受け、指揮を本格的に学び始める。法学と指揮を学びながら大学を卒業。その後2006年より指揮者として活動を開始。現在、複数のオーケストラで指揮者として活動する他、地域の学校の音楽部の指導や、アマチュア作曲家によるオーケストラ向け作品の初演、録音にも積極的に関わるなど、既存のクラシック音楽に限らない指揮活動にも力を入れている。トロンボーンを高階恵、三輪純生の両氏に、指揮を金丸克己氏に師事。



コンサートミストレス

小林 明日香 (asuka KOBAYASHI)

兵庫県神戸市生まれ
愛知県立明和高等学校音楽科を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科ヴァイオリン専攻卒業

全日本学生音楽コンクール名古屋大会高校の部第1位。KOBÉ国際学生音楽コンクール弦楽器部門最高位の優秀賞及び神戸市長賞。

レンク夏期国際音楽アカデミーにてアデリーナ・オブレアン氏のマスタークラスを、アドリアン・コックス (Pf)、ツヴィ・カルメリ (Va) 各氏の室内楽クラスを受講。教授の推薦を受け、現地にて演奏会に出演する。アカンサス東海第10回新人演奏会に出演。これまでに、ヴァイオリンを今岡康代、東儀幸、上田明子、澤和樹、山崎貴子、沼田園子、アデリーナ・オブレアンの各氏に、ヴィオラを川崎和憲氏、室内楽を山口裕之、玉井菜採、佐々木亮の各氏に師事。

現在、東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程音楽文化学専攻1年在学中。



~Today's Menu~

~本日のお品書き~

Symphonie Nr.4 in B-dur op.60

Ludwig van Beethoven (1770 - 1827)

交響曲第四番 変ロ長調 作品60 / ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

1st movement : Adagio - Allegro vivace

2nd movement : Adagio

3rd movement : Allegro molto e vivace - Un poco meno allegro

4th movement : Allegro ma non troppo

Intermission(15min.)

休憩 (15分)

Symphony No.4 in F-minor op.36

Peter Ilyich Tchaikovsky (1840 - 1893)

交響曲第四番 へ短調 作品36 / ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー

1st movement : Andante sostenuto - Moderato con anima

2nd movement : Andantino in modo di canzona

3rd movement : Scherzo: Pizzicato ostinato

4th movement : Finale: Allegro con fuoco

And....??

